

平成 29 年度全国学力・学習状況調査
中富良野町の調査結果について

中富良野町教育委員会

全国の子どもたちの学力状況を把握する「全国学力・学習状況調査」が町内の小・中学校でも実施されましたので調査結果をお知らせします。

なお、調査により測定できるのは、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることをご理解の上ご覧ください。

<調査概要>

1. 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の対象 小学校第6学年 中学校第3学年

3. 調査内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学）

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題

②質問紙による調査

- ・児童生徒質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等
- ・学校質問紙調査 指導方法に関する取組や教育条件の整備状況等

<調査結果>

1. 調査期日 平成29年4月18日（火）

2. 調査の参加者 小学校第6学年 46人 中学校第3学年 52人

3. 調査結果

①教科に関する調査 正答率100%として

【小学校】

科 目	全国平均	全国平均に対して 中富良野町の傾向	全道平均	全道平均に対して 中富良野町の傾向
国語A（主として知識）	74.8	上回る	74.0	上回る
国語B（主として活用）	57.5	同等	56.0	やや上回る
算数A（主として知識）	78.6	上回る	77.0	上回る
算数B（主として活用）	45.9	上回る	44.0	上回る

【中学校】

科 目	全国平均	全国平均に対して 中富良野町の傾向	全道平均	全道平均に対して 中富良野町の傾向
国語A（主として知識）	77.4	やや下回る	77.0	やや下回る
国語B（主として活用）	72.2	やや下回る	72.0	やや下回る
数学A（主として知識）	64.6	やや下回る	64.0	やや下回る

数学B（主として活用）	48.1	やや下回る	47.0	同等
-------------	------	-------	------	----

②児童生徒質問紙調査

規範意識をもち、将来の夢や希望の実現に向けて、他者とより良い人間関係を築き、主体的に学習に取り組む力の育成に関わる項目を抽出。

【家庭での生活・学習について】（数字は%、上段：小学校、下段：中学校）

質 問 項 目	全国平均	全道平均	中富平均
朝食を毎日食べている。	95.4	94.1	100.0
	93.2	92.3	96.1
毎日、同じくらいの時刻に起きている。	91.2	90.0	93.5
	92.4	92.4	96.2
家で自分で計画を立てて勉強している。	64.5	65.4	71.7
	51.5	51.2	53.8
今住んでいる地域の行事に参加している。	62.6	54.3	67.4
	42.1	34.4	34.7

【学校での生活・学習について】

質 問 項 目	全国平均	全道平均	中富平均
学校へ行くのは楽しいと思う。	86.3	84.1	80.4
	80.9	76.9	86.5
授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。	84.7	84.4	89.1
	84.4	83.5	84.6
学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた。	75.1	72.5	84.8
	71.3	69.9	80.7
授業では、学級の友達との間で話し合う機会がよくあると思う。	84.5	83.3	84.8
	81.8	78.9	86.6
学級みんなで協力して何かをやりとげて、うれしかったことがある。	87.8	87.0	91.3
	86.0	85.6	86.5
学校の決まりを守っている。	92.6	91.6	97.8
	95.2	94.5	98.1

【関心・意欲・態度等について】

質 問 項 目	全国平均	全道平均	中富平均
将来の夢や目標「を持っている。	85.9	84.8	95.7
	70.5	69.6	74.5
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	94.8	93.9	93.5
	94.7	94.6	96.2
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。	77.4	75.1	76.1
	71.0	69.8	67.3
自分には、良いところがあると思う。	77.9	75.0	76.1
	70.7	69.9	80.8
人の役に立つ人間になりたいと思う。	92.5	91.7	95.6
	91.9	91.3	92.3

いじめはどんな理由があってもいけないことだ と思う。	96.1	95.8	100.0
	92.8	91.9	94.2

4. 考 察

①教科に関する調査

【小学校】

- ◎国語A・B、算数A・Bともに全国・全道の平均と同等もしくは上回っている。
- ◎3年ほど前から向上傾向が見られる。

【中学校】

- ◎国語A・B、数学A・Bともに全国・全道の平均をやや下回っている。
- ◎向上傾向が見られる。

②児童生徒質問紙調査

【家庭での生活・学習について】

- ◎基本的な生活習慣が身に付いており、落ち着いた生活を送っている。
- 社会全体の問題ともなっているが、家庭でもメディア（テレビ、ゲーム、携帯電話、スマートフォンなど）の利用について、学校・家庭・地域が一体となって抑制していける体制を築く必要がある。

【学校での生活・学習について】

- ◎意見の発表や話合いの機会を工夫するなど、コミュニケーション力の育成に取り組む、成果を上げている。
- 中富良野町の子どもたちは、学校生活に喜びを感じ、学習にスポーツに目標をもって友達と取り組んでいる。今後とも、子どもたちが安心して、より楽しく過ごすことのできる場となるよう指導を充実させていく必要がある。

【関心・意欲・態度等について】

- ◎これまでの小中での連携した取組や家庭・地域と連携した取組を通して、子どもたちの自己有用感の育成に成果を上げている。
- 中富良野町の子どもたちはいじめはどんなことがあってもいけないことだという認識をしっかりと持っている。今後も学校・家庭・地域が連携し、いじめ防止に努める。

5. 今後の取組

【教科について】

- ◎今後とも、個に応じた指導の充実を図り、基礎基本の確実な定着に向けた取組の継続とB問題に対応できる力も育成していく。

【家庭での生活・学習について】

- ◎確かな学力、基本的な生活習慣がほぼ身に付いているが、個人差もある。学校・家庭・地域が児童の実態と指導の共有化を図り連携し継続した指導に努める。

【学校での生活・学習について】

- ◎今後とも、意見の発表や話合いの機会を工夫するなどの取組を行い、コミュニケーション力の育成に努める。
- 中富良野町は学校・家庭・地域が一つになり子育てに大変熱心に取り

組んでいる。今後も、子どもたちにとって、学校が安心して、より楽しく過ごすことのできる場となるように、安全指導や他者とより良い人間関係を築く指導の一層の充実に努める。

【関心・意欲・態度等について】

- ◎中富良野町の子どもたちは将来の夢や希望を抱き、社会に貢献したいという気持ちが高い。その実現に向けて、引き続き小中での連携した取組や家庭・地域と連携した取組の継続に努める。
- 今後とも「いじめはどんなことがあってもいけないことだ。」ということを道徳教育の充実に共に、学校・家庭・地域が連携して指導を継続していく。